

公民連携によるAI道路点検

10月3日より、枚方市内全域で実証実験を実施

市は三井住友海上火災保険株式会社と連携して、これまで市民からの通報や職員パトロールにより検出していた道路損傷を効率的に抽出する方法を検証するため実証実験を行う。

三井住友海上火災保険株式会社の顧客車両及び地域貢献として本取組みにご賛同頂ける地元企業車両に搭載されたドライブレコーダーの映像からAIを用いて道路損傷を検出し、クラウドで一元管理するサービスを10月3日(月)より活用して、交通事故の要因となる道路損傷を客観的かつ効率的に抽出する。

★本実証実験は、大阪府が設立した「大阪スマートシティパートナーズフォーラム(OSPF)」の第3期プロジェクトとして、府内で初めて実施する。

★今回、三井住友海上火災保険株式会社のドライブレコーダーの映像からAIが道路損傷を検出するサービス「ドラレコ・ロードマネージャー」を枚方市が実験的に利用する。



★期間：令和4年10月3日(月)から11月1日(火)まで

場所：枚方市内全域の道路

※顧客車両等が走行する範囲に限る。

★三井住友海上火災保険株式会社とは、災害時の罹災証明書等を速やかに発行するために市と災害時応援協定を締結している。

土木部 工事委託課

☎：072-841-1404 FAX：072-841-3830